

読者の声



たくさんのご意見ご感想をありがとうございました。
その一部をご紹介します。ご質問にはホーフウがお答えします。

皆様のご意見
お待ちしております

Q&A

Q. 子猫 2 匹拾って家で育てています。捨て猫などどうしたらいいか教えてください。(70代女性)

A. 市内には、保護猫の活動をされているボランティア団体が数団体あります。本会から関係団体にお繋ぎすることもできます。

Q. 福祉員活動が障害者の方や高齢者の方となっていました。障害者の方の情報はどこから入ってくるのでしょうか。以前障害者の方の相談で民生委員さんに相談に行きましたところ、障害者の情報が入ってこないと言われました。以前は障害者の方宅に民生委員さんが 1 年に 1 度は必ず訪問されていたようですが教えて頂ければと思います。(70代女性)

A. 福祉員は、身近な相談員として地域住民のつながりのなかで活動をしています。このつながりの中から、情報を得られることはありますが、特に行政から情報を得るといったことはありません。現在、個人情報取り扱いが厳しくなっている状況ですので、地域の皆様のご協力が必要です。

Q. 高齢者実態調査の件ですが、満 65 歳以上のひとり暮らし高齢者です。担当地区民生委員の自宅訪問をお断りします。つきましては調査用紙を送付していただけたらと思います。(70代女性)

A. ご希望がございましたら用紙を送付することもできますので、ご連絡ください。

Q. 子ども食堂について、私たち一人暮らしの人は該当しないのでしょうか。該当すれば私はどこに伺えばよいのでしょうか。(70代女性)

A. 食堂によって対象範囲が様々です。地区を教えてくださいましたら、該当する食堂があるか確認し、ご紹介いたします。

Q. 生活困窮者の定義とは、令和3年度 148名とありましたが漠然としていてよくわかりません。基準とはどんなものでしょう。(70代女性)

A. 生活困窮者とは『就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者』と定義づけられています。

令和3年度148名については、食べ物がなくて困っていると本会にご相談があり、食糧をお渡しした人数になります。

Q. 福祉員・友愛訪問グループ員の活動が紹介されていましたが、私の所には誰一人訪ねてきた方はありません。地区によって活動が違いすぎるのではないのでしょうか。民生委員についても同様です。(70代女性)

A. 地区ごとの特性によって、活動内容や頻度に違いがあるのが現状です。訪問、ご相談のご希望がありましたら、お問い合わせください。担当地区の福祉関係者をご紹介します。

ご感想・ひとこと

ホーフウのキャラクターはとてもかわいいので、これからいろいろなグッズを増やして欲しいと思います。(40代女性)

福祉員・友愛訪問グループ員の活動や訪問、研修等を特集で載せてほしい。(30代女性)

ボランティアの輪が広がっていく事を願っています。参加も考えています。(60代女性)

まちがい探しいつも見えています。ふれあいいきいきサロンも興味あり、楽しくいきいきされた姿に元気をもらいます。(60代女性)

5年以上前に(おゆずりしますコーナーで)老人の押し車をいただき大切に使いました。(60代女性)

多くを求めず資源に応じた重点志向の業務運営諸規程等実態と乖離していないか注視(70代男性)

大正生まれの独居老人福祉員友愛訪問グループ員等ボランティアですよね、よく声をかけてもらいました。名誉職ではなく、積極的な人を選任し日常的に見守りを。(90代男性)

社協だよりも、高齢者が社会と関わりを続けていくきっかけとなれば。高齢者の方をもっとみんなで尊敬し寄り添っていきたいです。ホーフウのキャラクターが可愛くてとても気に入っています。(40代女性)



多くの貴重なお声を頂き、ありがとうございます。